

## 第3学年 音楽科学習指導案

対 象 3年3組 男18名女15名 計33名  
指導者 横澤 節

- 1 題材名 歌い継ごう 日本の歌 「ふるさと」  
教材名 混声四部合唱「ふるさと」高野辰之作詞 岡野貞一作曲 (教育芸術社 中学生の音楽2,3下)

### 2 題材について

#### (1) 生徒について

本単元に関わる、学習内容について事前アンケートを行ったところ、次のような結果になった。

仲間と声を合わせて歌うことが好きだ。	好き	13% (32人中4人)
	どちらかというが好き	71% (32人中23人)
	どちらかという嫌い	16% (32人中5人)
	嫌い	0% (32人中0人)
作詞者の思い(詞に込められた思い)を考えて歌うことがありますか。	いつも考えている	31% (32人中10人)
	時々考えている	56% (32人中18人)
	あまり考えていない。	13% (32人中4人)
	ほとんど考えていない	0% (32人中0人)

上の表の通り、仲間と声を合わせて歌う活動を概ねの生徒が「好き、どちらかというが好き」としている。詞に込められた思いを考えることは、少しずつできるようになってきているが、まだ3分の2の生徒が「いつも考えている」には至っていない。

#### (2) 教材について

「ふるさと」は、多くの人に幼い頃より親しまれている曲であるが、小学校でも共通教材として扱われているように、我が国にとって世代を超えて歌い継がれて欲しい曲の一つである。歌詞は文語体であるにもかかわらず、堅苦しい雰囲気を感じさせず、しみじみと郷愁を誘う曲である。歌詞の内容からは、ふるさとを遠く離れても困難に立ち向かい、志したことを成し遂げて、ふるさとに帰りたいという作者の強い思いがメッセージとなって伝わってくる。

本教材の中心となる指導事項としては、【A表現・歌唱】のA「歌詞の内容や曲想を味わい、曲にふさわしい表現を工夫して歌うこと。」ウ「声部の役割と全体の響きとのかかわりを理解して、表現を工夫して合わせて歌うこと。」を取り上げる。音色、旋律、強弱との関わりに着目し、情景や作者の思いを想像したと重ねて、表現の工夫につなげていきたい。「伝える力」を持つ合唱を作り上げたいと考えこの教材を設定した。

#### (3) 指導について

本題材では、混声四部合唱に取り組む活動を通して、声部の役割と全体の響きとのかかわりを理解して、詞の意味と大切にしたい言葉を考えながら表現を工夫し、合わせて歌うことをねらいとする。表現方法を考える際に全体での話し合いを通して、生徒一人一人が考えを深められるような場としたい。

### 3 題材の目標

#### (1) 音楽への関心・意欲・態度

- ・歌詞の内容や曲想を味わい、曲にふさわしい表現を工夫して合わせて歌う学習に、主体的に取り組もうとする。
- ・声部の役割や全体の響きとのかかわりに関心を持ち、音楽表現を工夫しながら合わせて歌う学習に主体的に取り組もうとする。

(2) 音楽表現の創意工夫

- ・歌詞の内容や曲想を味わい、曲にふさわしい表現を工夫し、どのように合わせて歌うかについて、思いや意図を持つことができる。
- ・音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、声部の役割や全体の響きとのかかわりを理解して音楽表現を工夫し、どのように合わせて歌うかについて思いや意図を持つことができる。

(3) 音楽表現の技能

- ・歌詞の内容や曲想を味わい、曲にふさわしい表現をするために必要な技能を身につけて歌うことができる。
- ・声部の役割や全体の響きを生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけて歌うことができる。

4 指導と評価の計画

時	学習内容	音楽への関心・意欲・態度	音楽表現の創意工夫	音楽表現の技能
中 2 ・ 中 3	・歌詞の内容や曲想を味わい、曲にふさわしい表現を工夫して歌う。  ・声部の役割と全体の響きとのかかわりを理解して、表現を工夫しながら合わせて歌う。	・歌詞の内容や曲想に関心を持ち、曲にふさわしい音楽表現を工夫して合わせて歌う学習に主体的に取り組もうとしている。  ・声部の役割と全体の響きとのかかわりに関心を持ち、音楽表現を工夫しながら合わせて歌う学習に主体的に取り組もうとしている。	・歌詞の内容や曲想を味わって曲にふさわしい音楽表現を工夫し、どのように合わせて歌うかについて思いや意図を持っている。  ・声部の役割と全体の響きとのかかわりを理解して音楽表現を工夫し、どのように合わせて歌うかについて思いや意図を持っている。	・歌詞の内容や曲想を生かした、曲にふさわしい音楽表現をするために必要な技能を見つけて歌っている。  ・声部の役割と全体の響きとのかかわりを生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけて歌っている。
1	「ふるさと」の音を取り、合わせて合唱する。	音を取り、合わせて歌う学習に主体的に取り組もうとしている。		「ふるさと」を、正しい音程で合唱することができる。
2	「ふるさと」の声部の役割と全体の響きとのかかわりを理解して合唱する。	声部の役割と全体の響きとのかかわりに関心を持ちながら歌う学習に主体的に取り組んでいる。	声部の役割と全体の響きとのかかわりを理解して、どのように合わせて歌うかについて思いや意図を持っている。	声部の役割と全体の響きとのかかわりを生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けて歌うことができる。
3 本 時	「ふるさと」を歌詞の内容や曲想を味わい、曲にふさわしい表現を工夫して合唱する。	歌詞の内容や曲想に関心を持ち、曲にふさわしい音楽表現を工夫して合わせて歌う学習に主体的に取り組もうとしている。	歌詞の内容や曲想を味わって曲にふさわしい音楽表現を工夫し、どのように合わせて歌うかについて思いや意図を持っている。	歌詞の内容や曲想を生かした、曲にふさわしい音楽表現をするために必要な技能を見つけて歌っている。
4	「ふるさと」のBCの部分に合わせて、全体を合唱をする。	曲にふさわしい音楽表現を工夫して合わせて歌う学習に、主体的に取り組もうとしている。	音楽表現を工夫し、どのように歌うかについて、思いや意図を持っている。	曲にふさわしい音楽表現をするために、必要な技能を見つけて歌っている。

## 5 本時の指導

### (1) 目標

「ふるさと」を、歌詞の内容や曲想を味わい、曲にふさわしい表現を工夫して合唱できる。

### (2) 評価規準

評価の観点	評価規準
音楽への関心・意欲・態度	歌詞の内容や曲想を味わい、曲にふさわしい表現を工夫して合わせて歌う学習に主体的に取り組もうとしている。
音楽表現の創意工夫	歌詞の内容や曲想を味わい、曲にふさわしい表現を工夫し、どのように合わせて歌うかについて思いや意図を持っている。
音楽表現の技能	歌詞や内容や曲想を味わい、曲にふさわしい表現をするために必要な技能を身につけて歌っている。

### (3) 展開

段階	学習活動	●指導上の留意点 ◎評価
導入 10分	1 自分の音を確認しながら「ふるさと」を歌う。	●「ふるさと」を3番まで歌い、前時までの達成状況を確認、同時に録音を行う。
	2 課題の確認	「ふるさと」の詞の意味と大切にしたい言葉を考えながら表現を工夫し、混声四部合唱を創り上げよう。
展開 30分	3 課題解決 (1) 作詞者の思いについての確認 (2) 録音をした自分たちの演奏を聴き、改善点を考えワークシートに書く。(個人) (3) パートで話し合い、まとめて発表する。(交流) (4) 部分練習をする。(全体)	●作者の気持ちを考えた表現の工夫、大切にしたい言葉、強弱の表現に着目させる。 ●強弱の表現に着目させる。 ●大切にしたい言葉を考えさせる。 ◎作者の思いを理解し、どのように表現して合わせて歌うかについて思いや意図を持っている。 【創意工夫 ワークシート】 ◎詞の意味と大切にしたい言葉を考えながら、表現を工夫して歌う技能を身に付けて歌っている。 【技能 演奏聴取】 ◎表現を工夫しながら合わせて歌う学習に主体的に取り組もうとしている。【関心・意欲 観察】
	5 まとめ ・全体でまとめの合唱をする。	●録音を行う。
終末 10分	6 振り返り	●気付いたことを話し合わせる。
	7 次時の確認	●B Cの部分に取り組むことを確認する。

#### (4) 板書計画

学習課題

「ふるさと」の詞の意味と大切にしたい言葉を考えながら表現を工夫し、混声四部合唱を創り上げよう。

課題解決

- ・高野辰之について

自分の考え

交流

- ・盛り上がりがわからない、どこをもりあげるのか。
- ・言葉がはっきりとしない。
- ・どの言葉を大切にしたいのか。
- ・どのパートを目立たせたいのか。

まとめ

(拡大した楽譜を張り出し、交流ででてきた内容を書き込む)

振り返り